

発行 土浦平和の会
 事務局 土浦市神立町2664 2
 TEL 31-9122

梟。、

／簷方2毫厦／で貿壘妄葦6彦ク厚る／

野呂田防衛庁長官は衆院予算委において「後方支援としての輸送が、相手国から攻撃を受ける場合自衛隊が武器を使用することは否定されない」と答弁しました。

85年イラン・イラク戦争の最中、ペルシャ湾でコンテナ船アルマナックは突然国籍不明の戦闘機から攻撃を受けた。商船三井から労務提携で乗り込んでいた日本人25人のうち、操機長の藤村憲一さんは、クレーンの破片を頭に受けて即死した。この戦争で攻撃を受けた民間船は429隻、650人が負傷した。ミサイル攻撃を受けたタンカー - の船長熊崎孝昭さんはF中立国ですら安全は守られなかった。特定の国に加担すればなおさらだ」と語った。

第2次大戦で、日本の商船隊は「後方」で壊滅した。6万人を超す船員が死亡し、戦死率は軍隊よりも高かったという。（「朝日新聞」新安保を問うから）

「後方支援が戦闘を支える」「後方でも安全はない。最も危険な役割」と言えそうです。

「安保の枠内」という大うそ アメリカの国益を守る戦争に加担

「我々は日本に軍艦をおき、そこに基地を持ち、そして日本はこれを数多くの様々な仕方で支援している。しかし、指針（新ガイドライン）はいま、単に日本の防衛の時に限らず、地域の突発事変についても我々に協力する積極的な道を与えているのである。」（米国防総省サコタ日本課長）

これ（新ガイドライン）は日米安保の『変質』であって『並列』ではありません。本当いったら日米安保条約の改正をやらなければならない。しかし、改正するなら、当然日本国憲法の改正も問題になってくる。そこいらのけじめなしに、いいかげんなことをやるなというのです。
 （後藤田元副総理 『世界』2月号）

隣辺筆籬傭反対 宣伝行動

誘い泰って春、 -いitしむう

宣伝カーによる宣伝行動

2月26日（金）10時から

土浦市内全域

主催 県平和委 & 土浦平和の会

行事ごよみ

2・11 百里初午祭り（平和公園）

2.15 戦争協力法反対土浦連絡会

（新婦人事務所）

2・19 土浦平和の会理事会（1中地区公）

3・1～2 3・1ピキニデー（焼津）



「1 浦駅前宣伝 & 署名行動

2月27日（土）

10:30～12:00

10:30 西口連絡橋集合

主催 戦争協力法反対土浦連絡会

「新ガイドラインの立法化に反対する驚願書」
の署名を早急に始めよう！